

会社情報

設立 平成3年4月

従業員数 15名

代表者 相馬 督

株式会社 エルコム

Future for Earth ~ すべては次世代のために

斬新な発想とそれを形にする独自の技術力で、環境問題や社会ニーズに新たなソリューションを提案するイノベーションカンパニー。



常務取締役兼環境ソリューション部部长
相馬 嵩央

支援によって世界への チャレンジが近づいた。

サーマルリカバリはリサイクルの最終手段というイメージが根深くあるが、廃プラ排出企業がe-PEPを導入し自社内でエネルギー利用することで得られる運用・コスト・環境の3メリットを世界へ発信していきたい。



世界に向けたプロモーション動画を制作。撮影も念入りに行われた

廃プラスチック小型サーマルリサイクルシステム「e-PEP」 国内外展開向け映像制作事業

使い終わったプラゴミをエネルギーに変える

ごみとなったプラスチック、いわゆる廃プラは海洋汚染をはじめとする世界全体の大きな問題となっている。しかし地球環境への認識の高まりからゴミ分別は生活の一部になったが、企業や自治体が回収したその先を考えている人は少ないだろう。現在、世界でプラスチックのリサイクル率はわずか9%。平成29年に中国でゴミの輸入規制が始まり、さらに令和3年1月には改正バゼル法が施行。相手国の同意なしで汚れた廃プラの輸出はできなくなった。日本では廃プラ輸出が5年間で1/3に減少し、国内での処分を余儀なくされ処分費は3年間で10倍になったところもある。企業や自治体の負担が増え、国内埋め立て地の限界も近い。つまり廃プラは行き場を失っているのだが、その解決策のひとつとして注目を集めているのが株式会社エルコムが提案するe-PEPシステムだ。

世界のプラスチック問題を解決するため動画を制作

e-PEPシステムは燃料化システムとエネルギー化システムを組み合わせ、ゴミとして廃棄される廃プラをクリーンなエネルギーとして利用する仕組み。環境負荷を軽減しながら廃プラ抑制、エネルギー化ができ、既設ボイラ設備の補助熱源に利用することにより、大幅な省エネを実現する。まさに持続可能な循環型社会の構築に貢献することができるのだ。廃プラ処分費や燃料費など、外部環境の影響も軽減。しかも事業所単位で設置が可能なほどコンパクトで取り扱い資格も不要、容易な届け出だけで導入できる。

平成29年に販売を開始した後、道内屈指のスーパーマーケットチェーンなどで導入。さらに日本で一番漂着ゴミが多い対馬市でも導入された。「ゴミがエネルギーになる」という発想と技術は、驚きとともに各地で大きなトピックとなっているのだ。

これらの実績を得て世界のゴミ事情にも対応できると判断。同社では世界に向けたプロモーション動画制作のため支援事業を活用した。動画は日本語と英語で制作し、最終段階に入っている。札幌発のこの技術が、世界のゴミ問題を解決するかも知れない。



対馬市で漂着する発泡スチロール製パイを燃料化する樹脂圧縮成型機「ステラ」と製造された樹脂燃料



札幌市のスーパーのエコセンターでは、使用済フードトレイなどから創エネルギー。暖房と給湯の熱源となる樹脂燃料ボイラ「イーヴォル」

札幌市北区北10条西1丁目10-1MCビル

TEL 011-727-7003

FAX 011-727-7004

<http://www.elcom-jp.com/>

